

公益財団法人日本板硝子材料工学助成会
令和 9 年度（第 49 回）研究助成 応募要領

令和 8 年（2026 年）8 月 1 日

1. 助成の対象

主として、無機の固体材料並びに関連材料の科学と技術の研究。
例えば、ガラス・セラミックス等のバルク・薄膜あるいはナノレベルのハイブリッド構造で、フォトニクス、エレクトロニクス、医用、環境、省エネルギー、各種構造物等に用いる材料（複合材料を含む）に関する基礎研究および応用研究。（注：純粋な金属は含みません。）

2. 助成金額（件数）

総額 6,000 万円程度（40 件強、1 件 150 万円以下）
助成対象となる費用は、研究に直接必要な経費であり、研究者本人及び共同研究者の人件費、研究者が所属する組織の間接経費・管理経費・共通経費、汎用性のある事務機器は対象外です。
上記助成件数のうち、独創性に富む萌芽的な研究は「継続助成」として選考することがあります。
継続候補（1～2 件）に選ばれた場合は、1 年後に評価の上、令和 9 年度（2027 年度）も 1 件 150 万円以下の助成金を贈呈します。

3. 応募手続

★以下①～④が揃いましたら kenji.uchiyama@nsg-zaidan.or.jp 宛にその旨をお知らせください。応募ファイルのアップロード専用 URL をお送りします。その URL にアクセスして①～④をアップロードをお願いします。その他の方法での応募は受け付けません。

- ①申請書 Word ファイル
- ②所属機関長の推薦印捺印申請書表紙 pdf（電子印可）
- ③過去に発表した論文 5 件以内 pdf（全文 2 件＋先頭ページのみ 3 件以内）
- ④申請者情報 Excel ファイル

申請書 Word ファイルと申請者情報 Excel ファイルは、<http://www.nsg-zaidan.or.jp> からダウンロードできます。

★常勤の研究者に限ります（営利企業に所属されている方は対象外となります）。

★大学院学生は応募できません。

★令和 6 年度以降に弊財団の助成を受けられた方は、今回の応募資格はありません。

＜ 応募締切：令和 8 年（2026 年）11 月 18 日（弊財団必着） ＞

4. 選考方法

推薦を受けた応募研究は、弊財団が委嘱する選考委員会において選考します。
なお、応募テーマが他の助成金と重複した場合は、お断りすることがあります。

（選考委員会メンバー）

委員長	後藤 孝	東北大学名誉教授
委員	細野 秀雄	東京科学大学名誉教授・特命教授、物質・材料研究機構特別フェロー
委員	藤田 静雄	京都大学名誉教授
委員	水本 哲弥	日本学術振興会理事
委員	井上 博之	東京大学名誉教授
委員	矢野 哲司	東京科学大学教授
委員	鳥本 司	名古屋大学教授
委員	田中 勝久	京都大学教授

5. 研究助成金の贈呈

令和 9 年（2027 年）4 月に東京にて贈呈式を行います。

6. 助成による成果の報告及び発表について

- 1) 助成期間は 3 年間です。研究助成終了の 2030 年 3 月末までに研究成果報告を提出して頂き、弊財団の研究成果報告書に収録するとともに一般に公開します。なお、報告書の著作権は財団に属しますが、成果についての知的財産権等については財団は関与致しません。
- 2) 研究成果を学会に発表される場合は、弊財団から助成を受けたことを付記して頂くとともに、その別刷り又は資料写しを弊財団宛にご送付願います。
- 3) 成果普及事業として、収録した「研究成果報告」の一部について、2031 年 1 月開催予定の「研究成果発表会」で、講演等をお願いする場合があります。

7. その他

応募された個人情報については個人情報保護法を遵守します。なお、助成者の氏名・所属・職位・研究テーマ名は原則公開とします。

8. 問合せ先

〒664-8520 兵庫県伊丹市鴻池 2 丁目 13 番 12 号 日本板硝子株式会社 技術研究所内
（公財）日本板硝子材料工学助成会 事務局長 内山 堅慈 Tel：072-767-1701
e-mail: kenji.uchiyama@nsg-zaidan.or.jp <http://www.nsg-zaidan.or.jp>